

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハ・リハキッズ Powers II		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 利用時は毎回いろんな体験や遊びを味わいながらリハビリを取り入れている 季節に応じた製作に取り組んだり、利用児同士の関わりを大切にしている 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の個人の健康状態を確認しながら、出来そうな事ややってもらいたいことをその場で変更したり追加したりしながら療育とリハビリを組み込む 個々の引き出せる動きに合わせた小物や環境を用いているんな事に参加できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 他職種が、対応できるように勉強会や実際に参加することで身につけていけるようにする 利用児が行いやすい方法をスタッフで共有し、統一した関わりが出来るようにする
2	<ul style="list-style-type: none"> 各職種がそれぞれの持ち味を活かせ、臨機応変に対応できる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの業務以外にも興味をもち、積極的に「やってみよう」の取り組みを声掛けしながら助け合う 	<ul style="list-style-type: none"> 疑問に思ったことや質問をその場ですぐにできる環境作り
3	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ間が何でも言い合える環境 	<ul style="list-style-type: none"> 話しやすい空気づくりを皆で自然と行えている 	<ul style="list-style-type: none"> 1対1での上長との話をまめにしたり、スタッフ間で話をまとめてくれたものを上長に言える事で誰でも言いやすくなる環境づくり

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 支援プログラム(日案)を定着できていない 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムの立て方がスムーズに行えていない 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で毎日話し合い、その日に合ったプログラムを考える。 個々の支援にあったプログラムを常に意識しておく
2	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースに限りがある 	<ul style="list-style-type: none"> 物の配置や量が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児の動線を考えて環境整備を行う
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	リハ・リハキッズ Powers II
------	--------------------

公表日 2024年 12月 27日

利用児童数

2

回収数

2

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	1	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	1	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	1	1		機会を見つけて少しずつ広げていきたい
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	1	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	2	0	0		今後きょうだい参加型のイベントなどを検討していきたい
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	1	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	1	0	0		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハ・リハキッズ Powers II

公表日 2024年 12月 27日

利用児童数

15

回収数

10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	3	0	0		室内環境を常に考えていきたい
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	0	0		子どもたちの動線を考えて配置をしていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1	0	1		活動ごとの場所を作れるように整備していく
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0		個々のプログラムに合わせて取り組んでいきたい
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	0		年間行事を通してたくさんの経験を味わってもらえるように心がけていく
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	0	2	2	6		周辺の事業所との交流の機会を作れるよう検討していく
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	0	1	0		お便りなどを通じて発信できるようにしていく
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	10	0	0	0		会話を大切にし寄り添えるようにしていきたい
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	1	1		今後きょうだい参加型のイベントなどを検討していきます
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	0		
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	0	1		毎月のおたよりにて発信
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	1		個人情報等は鍵付きの書庫にて保管
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	1		毎月のおたよりにて発信
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	1		毎月のおたよりにて発信
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0	大満足しています。通所日じゃない日も行きたがります	今後も出来る限りの対応を迅速に出来るように心がけていきたい

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	リハ・リハキッズ Powers II	公表日	2024年 12月 27日
------	--------------------	-----	---------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	7	室内に荷物を出しっぱなしにしない	室内の配置を考える
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4	職員が欠員にならないよう事前に配置	利用児人数と職員人数の配置に差が出ないようにしたい
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	8	室内環境整備を日々こころがける	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	6	狭くならないように物を片付ける	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	8	向きを変えてみる	間仕切り壁を作る
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	4	ミーティングや個別で面談を行っている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2		いただいた意見の中で出来そうな事から始める
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	話しやすい環境設定を心掛ける	どうつなげていくか、毎回方法を考える
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	毎月決まった日に開催するようにしている	スタッフがしやすい時間帯などに工夫が必要
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2	毎日個々のプログラムを考えて支援	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	1	児発管とスタッフ間で話し合う機会を日々作り計画を作成	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2	時間を作り他職種の意見をきく	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	3	日々当日のスケジュールを調整。一人一人に合った支援を共有する	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2	コミュニケーションを図っている	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	4	日々のスタッフでMTG	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	様々な意見を吸い込み対応できるように話し合いの場を設ける	意見を出し合える環境をつくる

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	2	臨機応変に対応し、その場で判断できるようにしていく	支援方法の中身の充実
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	3	担当制にする事で役割と責任がしっかりともてる	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	5	反省する点、良かった点を言い合う	日々終了後に行う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	2		共有するが記録に残せていないので、議事録等を検討
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	2		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2	児発管や保育士・看護師が参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	7		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	コミュニケーションを大切にしている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	メールにて発信		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	どのスタッフも説明できるようにしておく	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	送迎時に時間を頂き納得していただけるまで説明	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		適宜に連絡をとり支援できる体制にしていきたい
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	年3回、保護者会を開催	
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		迅速に行動をとれるようにしていく	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	毎月のおたよりにて予定などは発信している		

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	行事予定に入れたり、訓練後の発信もおたよりにて行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	毎月訓練を行い、おたよりにて発信	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	定期的に面談時などの時に確認を行う	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	目についたことや外出の前には事前にチェックし共有し、対応する	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	2	発生後に話し合い、対策を考えその場で考える	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	委員会を設置し職員は必須の研修としている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	3	委員会を設置し職員は必須の研修としている	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リハ・リハキッズ Powers II		公表日		2024年 12月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	7	室内に荷物を出しっぱなしにしない	室内の配置を考える	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	5	職員が欠員にならないよう事前に配置	利用児人数と職員人数の配置に差が出ないようにしたい	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	7	室内環境整備を日々こころがける		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	7	狭くならないように物を片付ける		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	8	向きを変えてみる	間仕切り壁を作る	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2		いただいた意見の中で出来そうな事から始める	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	4	話しやすい環境設定を心掛ける	どうつなげていくか、毎回方法を考える	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	毎月決まった日に開催するようにしている	スタッフがしやすい時間帯などに工夫が必要	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	3	毎日個々のプログラムを考えて支援		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	2	児発管とスタッフ間で話し合う機会を日々作り計画を作成		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	3	時間を作り他職種の意見をきく		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2	日々当日のスケジュールを調整。一人一人に合った支援を共有する		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2	コミュニケーションを図っている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3	日々のスタッフでミーティングをし立案している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	様々な意見を吸い込み対応できるように話し合いの場を設ける	意見を出し合える環境をつくる	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	4	臨機応変に対応し、その場で判断できるようにしていく	支援方法の中身の充実	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	3	担当制にする事で役割と責任がしっかりもてる	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	6	反省する点、良かった点を言い合う	日々終了後に行う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	2		共有するが記録に残せていないので、議事録等を検討
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	1	利用時のその日の気分によって支援する	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	個々に話しかけ、選択してもらったりする	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	6		今後関係機関と連携し移行支援ができるよう体制を整えていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	9		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2		
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	7	コミュニケーションを大切にしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7	メールにて発信	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	どのスタッフも説明できるようにしておく	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	送迎時に時間を頂き納得していただけるまで説明	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1		適宜に連絡をとり支援できる体制にしてい
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	4	年3回、保護者会を開催	
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		迅速に行動をとれるようにしていく	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎月のおたよりにて予定などは発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	行事予定に入れたり、訓練後の発信もおたよりにて行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	毎月訓練を行い、おたよりにて発信	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	定期的に面談時などの時に確認を行う	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2	目についたことや外出の前には事前にチェックし共有し、対応する	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	発生後に話し合い、対策を考えその場で考える	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	委員会を設置し職員は必須の研修としている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	4	委員会を設置し職員は必須の研修としている	